

◎はじめにお読みください。

1. 本紙に記載された内容は製品の仕様、付属品の変更によって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っています。が、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
2. 本製品の組み立てには付属品以外の工具が必要になる可能性がございます。本紙内には付属しない製品の画像や用語を記載することがありますが、付属品については本紙の内容物欄に記載がある物のみとなります。
3. 他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本マニュアルの最新版は、弊社HPの製品ページに掲載されています。（右のQRコードよりアクセスできます。）
本紙右上のver.をご確認ください。弊社HPに掲載されているver.の方が新しい場合は、そちらをご確認の上、組み立てを行ってください。



【製品ページ】

サポート/連絡先

販売元 株式会社アーキサイト

〒110-0006 東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル
URL : <https://archisite.co.jp>
サポートダイヤル : 03-6859-0284
受付時間 10:00~12:00・13:00~17:00
(弊社指定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

危険 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。

警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。

注意 軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。

注意喚起 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

禁止 してはいけない「禁止」の内容です。

強制 必ず実行していただく「強制」の内容です。

製品仕様

ブランド名	ARCHISS
商品名	1TB HDD 搭載 4ch NVR (4ch PoE)
OS	Embedded Linux
HDD	1TB 搭載※SATA ポート ×1 (使用済) 最大 10TB
USB	USB 2.0 x2 (前面/後面 各1つ)
HDMI / VGA	各1ポート (HDMI : 最大解像度 4K)
ネットワーク	1 × RJ-45, 10/100 Mbps
PoE	4 × PoE ports, 10/100 Mbps
RCA 入出力	各1ポート
電源	53V DC, 1.13 A
外形寸法	260 mm × 232.7 mm × 47.6 mm
重量	0.86 kg ※HDD 除く
動作温度/湿度	-10°C ~ +55°C / 10%~93%
保存温度/湿度	0°C ~ 40°C / 30%~85%
製造国	中国
保証期間	1年間

危険

- ⊗ 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。事故や破損の原因となります。
- ⊗ 本製品の分解、改造を行わないでください。事故や破損の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂くことがあります。
- ⊗ 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。事故や破損の原因となります。

警告

- ⊗ 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、一旦使用をやめて各部に破損がないかを確認してください。そのまま使用を続けると破損や事故の原因となります。
- ⊗ 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ⊗ 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ⊗ 濡れた手で本製品に触らないでください。
- ⊗ 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置・放置しないでください。
- ⊗ 本体にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ⊗ 本製品の取り付けや設置に関しては、本マニュアルに記載されている通りに行ってください。
- ⊗ 本製品を振動のある場所で使用しないでください。

注意

- ⊗ 以下のような場所で使用、設置をしないでください。破損や故障の原因となります。
1. 強い磁界が発生するところ / 2. 火気の周辺や熱のこもるところ / 3. 水や水場の近辺
- ⊗ 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ⊗ ネジや各種部品は接続の方向を確認した上で差し込んでください。

【免責事項】

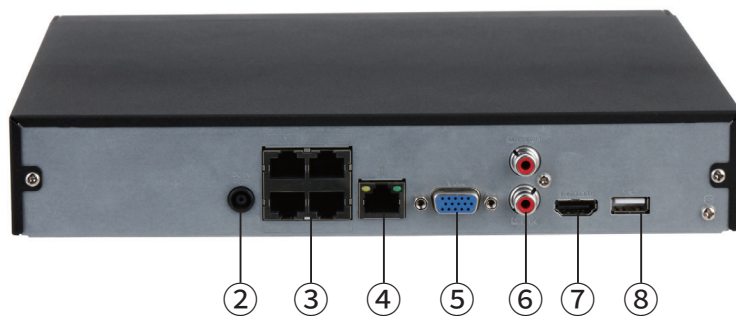
お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

各部説明 / 内容物

前面



背面



各部説明

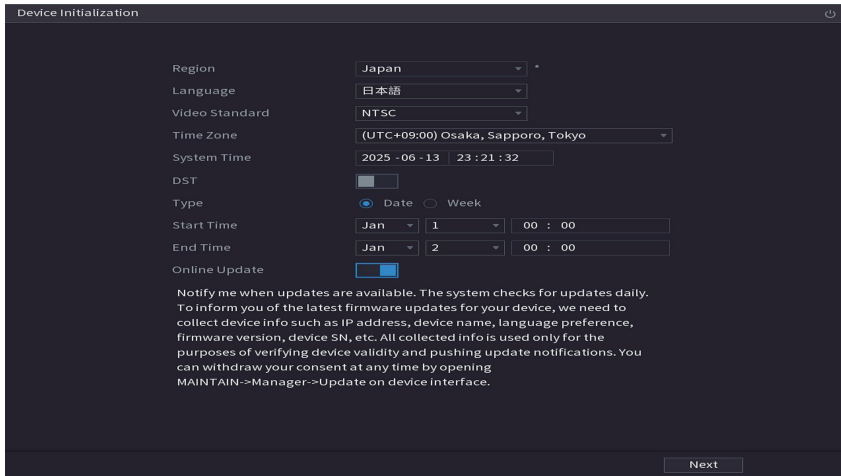
- ① 前面 USB 2.0 ポート
- ② 電源ポート
- ③ PoE カメラ接続ポート ×4
- ④ LAN ポート (RJ45)
- ⑤ D-Sub 15pin アナログ映像ポート
- ⑥ RCA 音声入出力ポート (アナログ)
- ⑦ HDMI ポート (映像 / 音声)
- ⑧ 背面 USB 2.0 ポート

内容物

- 1. NVR 本体 (HDD 1TB 搭載済)
- 2. AC アダプタ
- 3. 電源ケーブル (三極)
- 4. マウス
- 5. LAN ケーブル (カメラ非対応)
- 6. ゴム足 ×3

※HDMI ケーブル / PoE 対応の LAN ケーブルは付属していません。
別途用意をお願いいたします。

初期設定 (1/3)

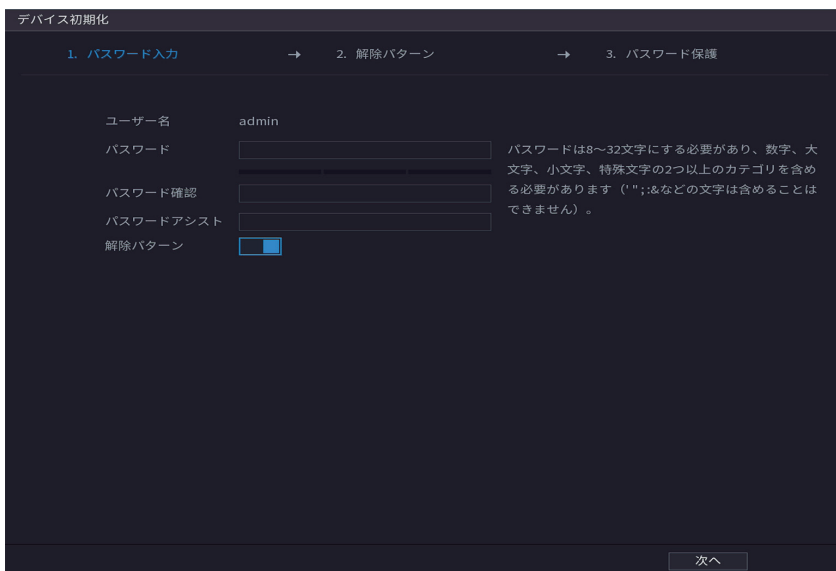


ステップ①：言語/時刻設定

本体起動後は左の画面が表示されます。

1. 一番上の **[Region]** の項目を付属のマウスで操作して **[Japan]** を選択してください。
2. **[System Time]** の時間が正しいか確認し、違っている場合は時刻を設定してください。
3. 一番下の **[Online Update]** をマウスでクリックをし、**[オフ]** にしてください(青からグレーになったらオフです)。

操作が完了したら右下の **[Next]** を選択して次に進んでください。



ステップ②：パスワード設定

左の画面が表示されたら、**[パスワード]**と**[パスワードの確認]**を設定してください。

※パスワードは、8文字以上で、複数の文字を組み合わせた複雑なものを設定してください。

[パスワードアシスト] は日本語での入力できません。入力する際は **[アルファベット]** でヒントを入れてください。



パスワード設定後は、手帳に書き写したり、スマートフォンのメモに入力する等、複数の手段で忘れないように管理してください。

[解除パターン] を設定する場合は、一番下の項目を **[オン]** (青) のままにしてください(設定推奨です)。



ステップ③：解除パターン設定

[解除パターン] は、画面上の9つの点を線で結んだパターンでロックを解除する設定です。ステップ②で設定した文字のパスワードより簡単にロックを解除できるため、設定を推奨いたします。

設定には、マウスの **[右クリックを押したまま]** 画面をなぞってください。同じ操作を2度行ってください。

初期設定 (2/3)

デバイス初期化

1. パスワード入力 → 2. 解除パターン → 3. パスワード保護

Emailアドレス パスワードのリセットに使われています、早めに情報を補充することをお勧めします。

セキュリティ質問

質問1 あなたの好きな子供の本は何ですか?

答え

質問2 あなたの最初の上司の名前は何ですか?

答え

質問3 あなたの好きな果物の名前は何ですか?

答え

次へ

ステップ④：パスワード保護設定

[Emailアドレス]にログイン/リセット用のEmailアドレスを入力してください。**[セキュリティ質問]**は、パスワードリセット時の質問を3つ設定することができます。

※日本語での入力はできませんので、入力する際は**[アルファベット]**での入力となります。



パスワード設定後は、手帳に書き写したり、スマートフォンのメモに入力する等、複数の手段で忘れないように管理してください。

スタートアップウィザード

1. ネットワーク → 2. P2P → 3. IPC → 4. チャンネル

イーサネットカード	IPアドレス	ネットワ...	NICメンバー	修正	解放
NIC1	192.168.1.108	シングル NIC	1		

IPアドレス: 192.168.1.108 デフォルトゲート 192.168.1.1 MTU: 1500

MACアドレス: 30:dd:aa:a7:db:69 サブネットマスク: 255.255.255.0 モード: 静的

IPバージョン ☐ DHCP

優先DNS

オルタナティブ...

初期設定カード

テスト 次へ キャンセル

ステップ⑤：ネットワーク設定

特にセキュリティの強化された場所や、特定のIP設定が必要な環境でなければ、そのまま**[次へ]**で問題ございません。

設定の変更が必要な環境の場合は、ご使用の環境に合わせて設定の変更をお願いいたします。

スタートアップウィザード

1. ネットワーク → 2. P2P → 3. IPC → 4. チャンネル

有効 ☐

デバイスのリモート管理のためにP2Pを有効にします。P2Pを有効にしてインターネットに接続すると、デバイスのIPアドレス・MACアドレス・デバイス名・シリアル番号等を収集します。これらの収集した情報はリモートアクセスの目的でのみ使用されます。
P2Pを使用しない場合はチェックボックスをオフにしてください。

状態

P2Pクライアント

機器SN

スキャンしてダウンロード

BB0A28APAJ5B441

前 次へ キャンセル

ステップ⑥：P2P設定

スマートフォンのアプリでNVRに直接アクセスし、ライブカメラを確認する際には**[有効]**をオン(青)にしてください。

- 左側のQRコードは、アプリケーション**[DMSS]**をダウンロードするためのリンクです。
- 右側のQRコードは、アプリケーションで機器登録をする際に読み込む**[シリアルナンバー]**です。

※この時点(初期設定時)で設定しなくても、後から設定することが可能です。

初期設定 (3/3)

[illegible]

ステップ⑦：IPC設定(カメラ接続)

1. 本体のLANポート(RJ45)に、動作しているルーターまたはHubから引いたLANケーブルを挿し込んでください。
2. **[ARCHISSブランド]** または弊社で動作確認済みのカメラを、**[PoE対応のCat5e以上]**のLANケーブルで、1~4の番号が振られたポートに接続してください。
3. 接続後、2~3分待つと自動的にカメラが認識されます。**[次へ]**を選択して進めてください。



- ・ルーター/Hub、LANケーブル(カメラ接続用を含む)については付属していません。
別途ご用意をお願いいたします。
- ・動作確認用にNVR用LANケーブルのみ付属しています。

[illegible]

ステップ⑧：チャンネル設定(HDDフォーマット)

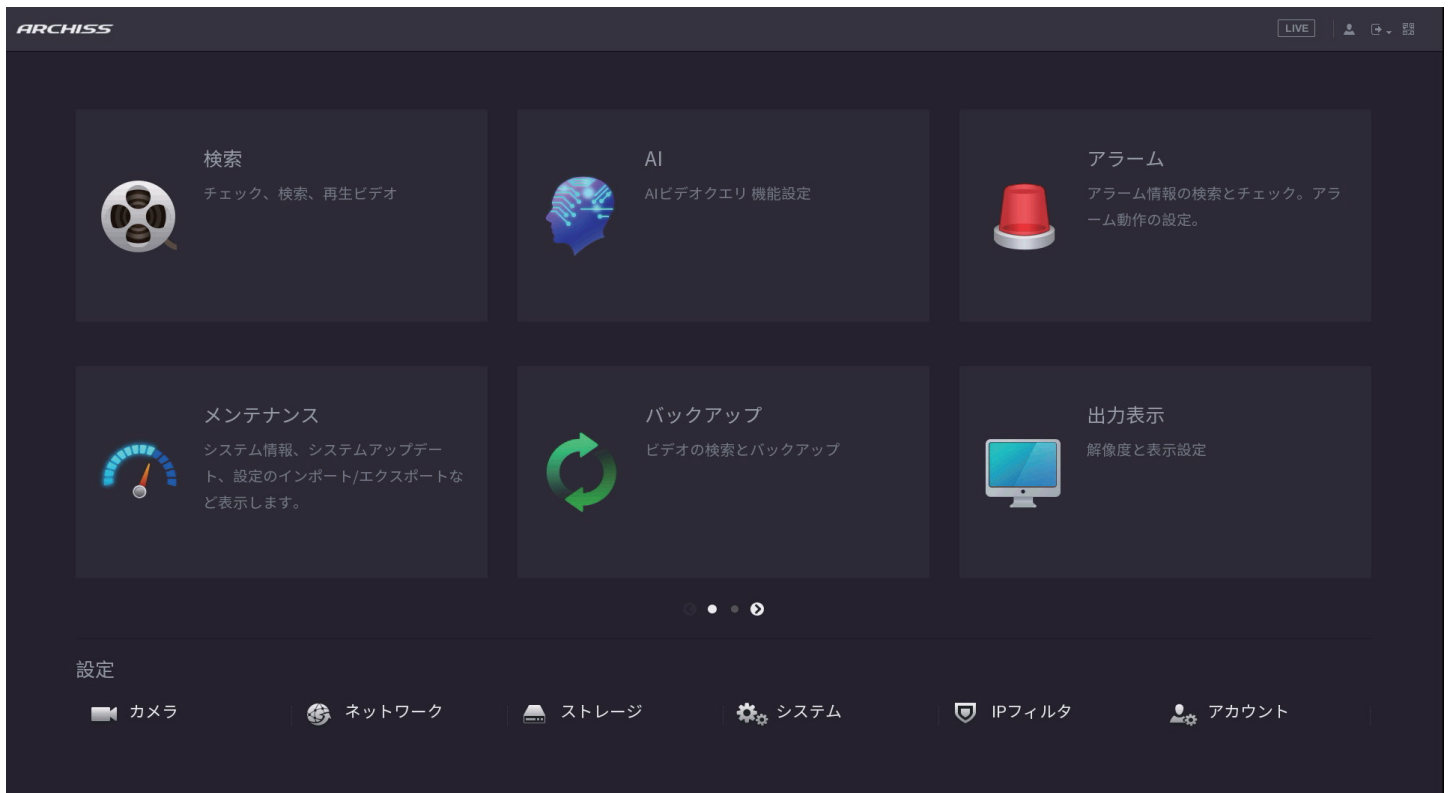
接続されているHDDのフォーマットや容量を確認する項目です。本製品は特別なカスタムを施した出荷でない限り、1TBのHDDが搭載された状態で出荷されております。

1. デバイス名の左にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
2. 左下のフォーマットを選択し、フォーマットを行ってください。
3. フォーマットを行った後に**終了**を選択して初期設定を終わらせてください。

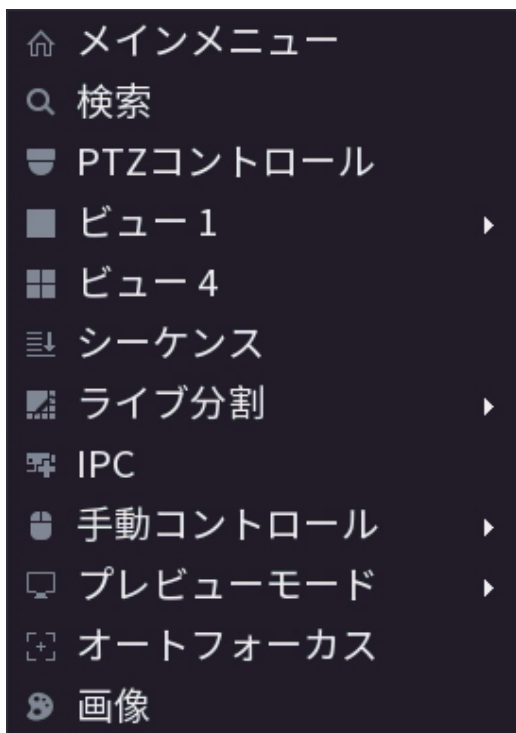
※ご自身でHDDの換装をした際は、再度フォーマットを行ってください。

メインメニュー

メインメニュー画面



ツリーメニュー



本体起動後は、上図の【**メインメニュー**】が表示されます。

カメラを接続している場合、カメラ画面が表示されることがあります。その際はマウスを【**右クリック**】してください。左図のような【**ツリーメニュー**】が表示されますので、一番上の「**メインメニュー**」をクリックすると、上図の画面に戻ることができます。

【メイン機能】

メインメニューには、以下のメイン機能があります。

- ① 検索 / ② AI / ③ アラーム / ④ メンテナンス / ⑤ バックアップ
- ⑥ 出力表示 /
- ⑦ 音声(画面中央下の右矢印をクリックした次のページにあります)

【設定メニュー】

画面の下列には、以下の設定メニューがあります。

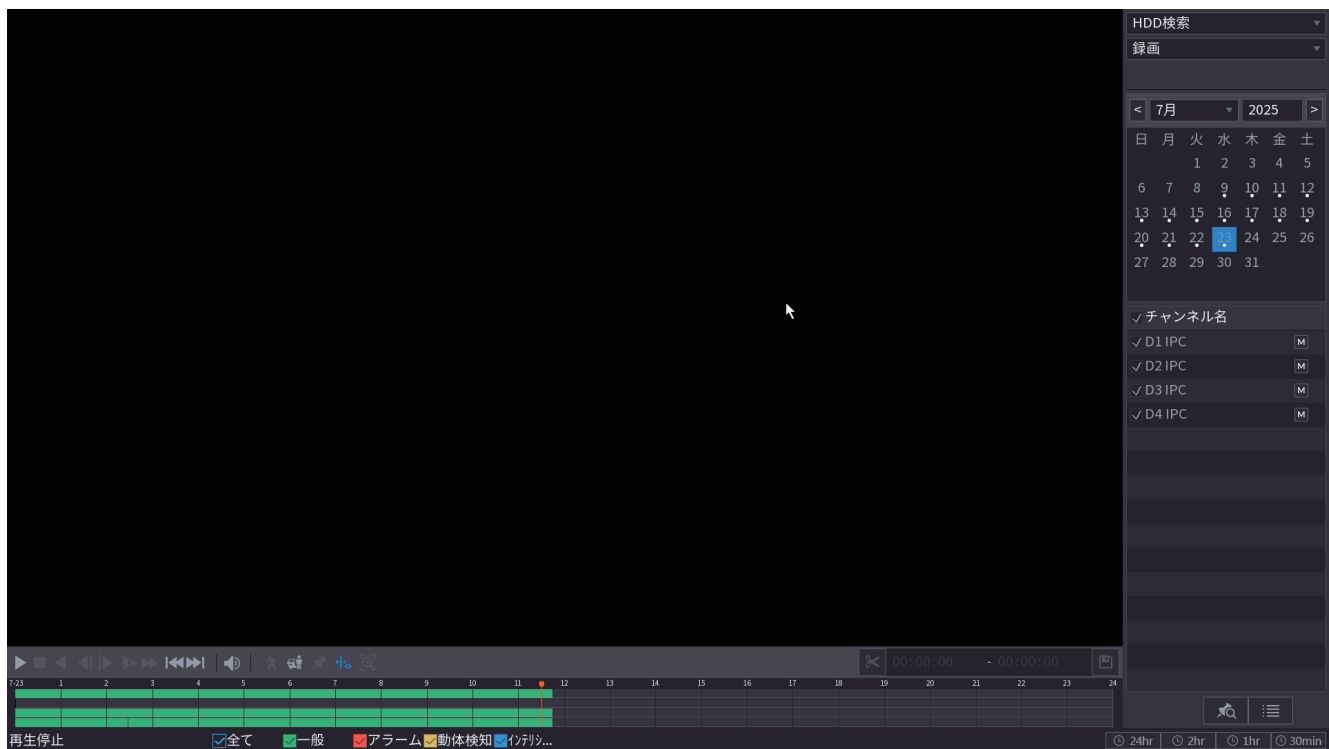
- ① カメラ / ② ネットワーク / ③ ストレージ / ④ システム /
- ⑤ IPフィルタ / ⑥ アカウント

【右上アイコン】

右上のアイコンからは、以下のメニューにそれぞれアクセスできます。

- ① LIVE アイコン / ② ユーザー(人型アイコン) /
- ③ シャットダウンメニュー(右矢印アイコン) / ④ QRアイコン

本項目では、HDD内に録画された動画を確認できます。



右側のカレンダー欄で**[検索したい日付]**と**[チャンネル]**を選択してください。

画面下部に、録画を行っている時間を示すカラーバーが表示されます。

※カラーバーは通常緑色ですが、アラームや検知状態の場合は赤や黄色になります。

確認したい時間のカラーバーをマウスでクリックすると、録画データが表示されます。

出荷時は**[24時間表示]**に設定されています。より細かい時間で録画データを表示したい場合は、画面右下の「24hr」から「2hr」や「1hr」、「30min」に変更すると、細かい時間の選択が可能になります。

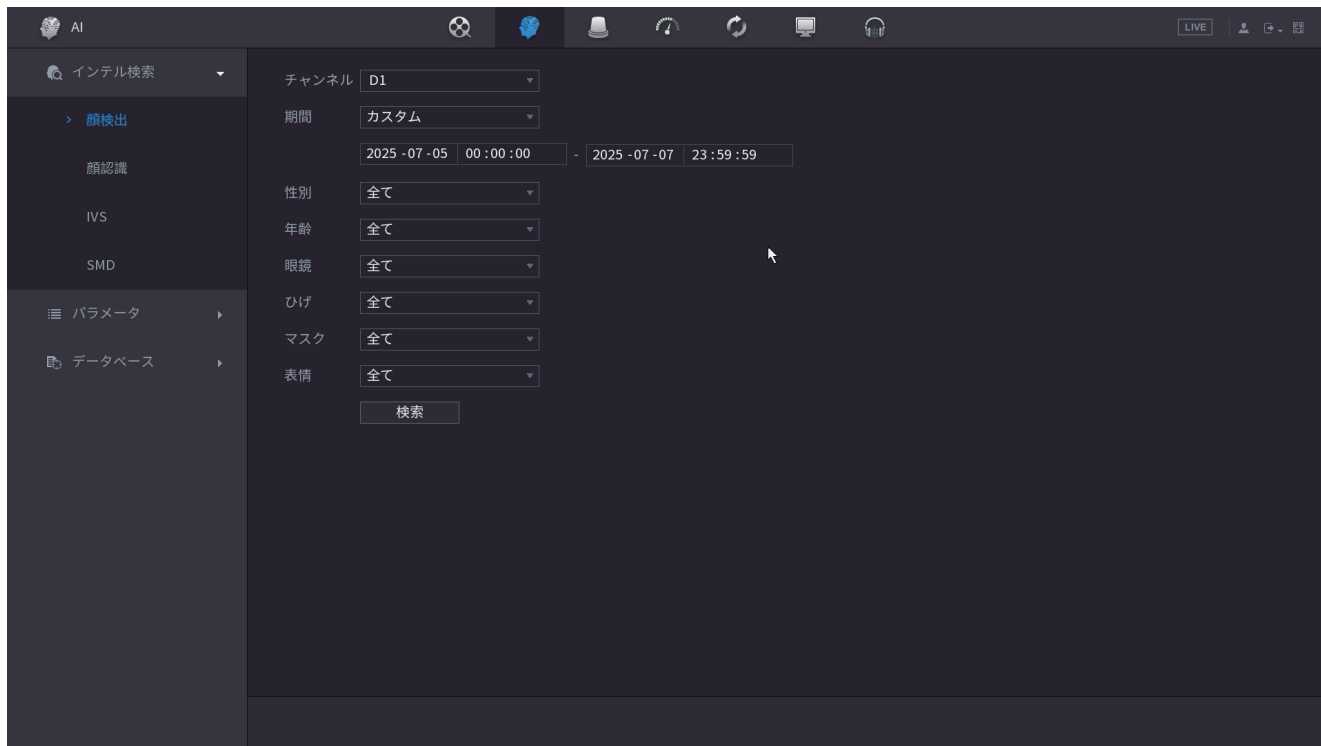
AI 機能を搭載したカメラや NVR を使用している際に設定が可能です。

AI 機能がない機器をご使用の際は、各種設定はできません。

AI 機能を持った機器をご使用の場合でも、設定できる項目や個数には機器ごとの制限があります。

対応数以上の設定を行おうとすると、設定ができない旨が表示されます。

その際は、**[AI 機能以外のアラーム設定]**と組み合わせて各種設定を行ってください。



インテル検索

「顔検出」「顔認識」「IVS」「SMD」の各設定を行った際に、それぞれ検出した項目を一覧で表示する機能です。

パラメーター

「スマートプラン」「顔検出」「顔認識」「IVS」「SMD」の設定を行う項目です。

① スマートプラン

AI機能を搭載したカメラを使用し、カメラAIのAIモードを有効にした後に設定が可能となります。

② 顔検出

エリアを設定し、通過した人物の顔を検出する機能です。

検出時に性別や年齢層などが表示されますが、搭載しているカメラやNVRのAI能力により精度が異なります(特に年齢や性別)。あくまで参考としてお考えください。

③ 顔認識

登録した顔の画像データをベースに顔認識を行う機能です。

顔検出で検出した顔データを登録することも可能です。

④ IVS(インテリジェンスビデオ監視システム)

AI機能により、トリップワイヤー侵入検知・人数カウントなどの機能を用いて監視映像を分析する機能です。

⑤ SMD(スマートモーションディテクション)

AI機能により、高精度になった動体検知機能です。

データベース

顔認識などで登録したデータのデータベースです。複数のデータベースを作成できます。

各種アラームの設定と解除を行うことができます。

The screenshot displays the 'Alarm' management interface. On the left is a sidebar with navigation options: 'アラーム情報' (Alarm Information), 'アラーム' (Alarm), 'アラーム入力ポート' (Alarm Input Port), 'ビデオ検出' (Video Detection), '異常処理' (Abnormal Processing), and '解除' (Release). The main area shows filters for 'タイプ' (Type) set to '全て' (All), '期間' (Period) set to 'カスタム' (Custom), and a date range from '2025-07-02 00:00:00' to '2025-07-16 23:59:59'. A '検索' (Search) button is present. Below the filters is a table of alarm events.

100	ログ時間	イベント	再生	画像
1	2025-07-16 21:08:02	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
2	2025-07-16 18:33:50	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
3	2025-07-16 18:33:23	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
4	2025-07-16 18:21:42	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
5	2025-07-16 18:20:42	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
6	2025-07-16 18:15:10	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
7	2025-07-16 18:08:23	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
8	2025-07-16 18:08:17	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
9	2025-07-16 18:07:14	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
10	2025-07-16 18:05:33	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
11	2025-07-16 18:05:16	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
12	2025-07-16 17:31:09	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
13	2025-07-16 17:29:32	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
14	2025-07-16 17:26:18	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁
15	2025-07-16 17:26:02	<顔認識(コモンモード): 1>	🔄	👁

At the bottom, there is a pagination control showing '01/10' and a 'Go To' button, and buttons for 'バック...' (Back) and '詳細' (Details).

アラーム情報

期間を設定し、その期間に発生したアラームの ログを検索できます。
検索結果にもここからアクセスが可能です。

アラーム

設定しているアラームのタイプが表示されます。

アラーム入力ポート

- ・ IPC Ext：カメラに接続した周辺機器がある場合に設定する、アラーム連動操作の設定項目です。
- ・ IPC オフライン：NVRとカメラのネットワークが遮断された際のアラームを設定する項目です。

ビデオ検出

① 動体検知

エリアを設定し、エリアを通過した際にアラームを出す設定項目です。
この設定は、AI機能のSMDではない**[通常の動体検知設定]**となります。

② ビデオロス

何らかの問題でビデオ信号が検出できなくなった際にアラームを出す設定項目です。

③ マスキング

カメラのレンズが覆われた場合や、正常な監視ができない状況を検出し、アラームを出す設定項目です。

④ PIR アラーム

赤外線を検知した際にアラームを出す項目です。
この機能を使用するには、使用するカメラが赤外線機能を持った製品である必要があります。

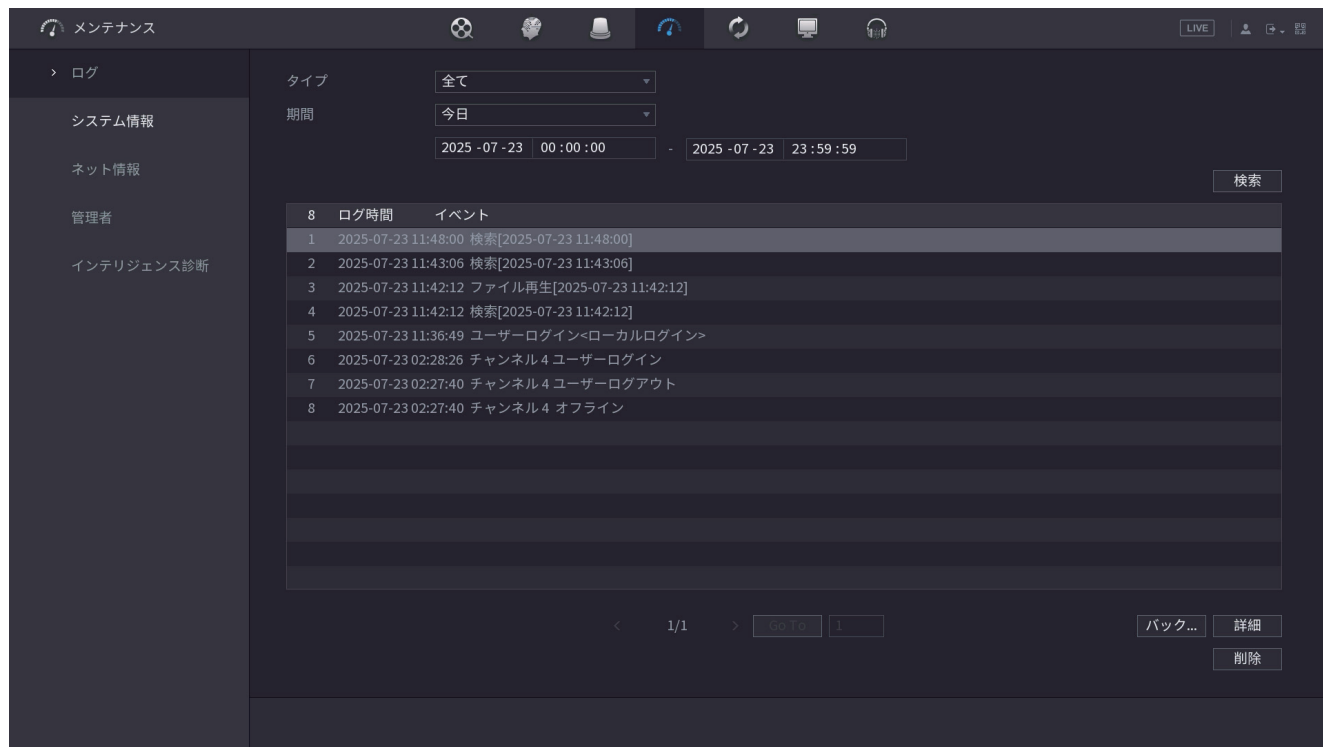
異常処理

HDDとネットワークの状態異常時にアラームを設定できます。

解除

設定しているアラーム項目の連動アクションを、必要に応じて解除する項目です。
一般的には、初期設定のまま運用することをおすすめいたします。

本項目では、総合的な操作のログ、各種システム情報、ネットワークのテストなどを行うことができます。一般的に操作が不要な項目が多数含まれるため、本マニュアルでは「管理者」の項目内の初期設定とアップデートのみ説明します。



管理者 → 初期設定

クリックすると、ネットワークやユーザー管理の情報以外の設定をすべて初期出荷状態に戻します。各種設定を変更し、どこを変えたかわからなくなった場合、本項目で一旦初期状態に戻すことをおすすめします。

管理者 → 工場初期出荷状態

クリックすると、全ての設定を削除し、工場出荷状態に戻すことができます。転居などで本製品をゼロから設定し直す際などにご使用ください。

管理者 → アップデート

本製品のファームウェア更新が発生した際は、アーキサイト製品ページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。それをUSBメモリ内に保存し、本体に接続してからアップデートを行います。

[オンラインアップデート]の項目がありますが、本サービスは運用の予定がございません。初期設定時にオンにしてしまった場合は、念のため本項目で**「アップデート自動チェック」と「システムアップデート通知」**を**[オフ]**に設定してください。

- メイン機能

バックアップ

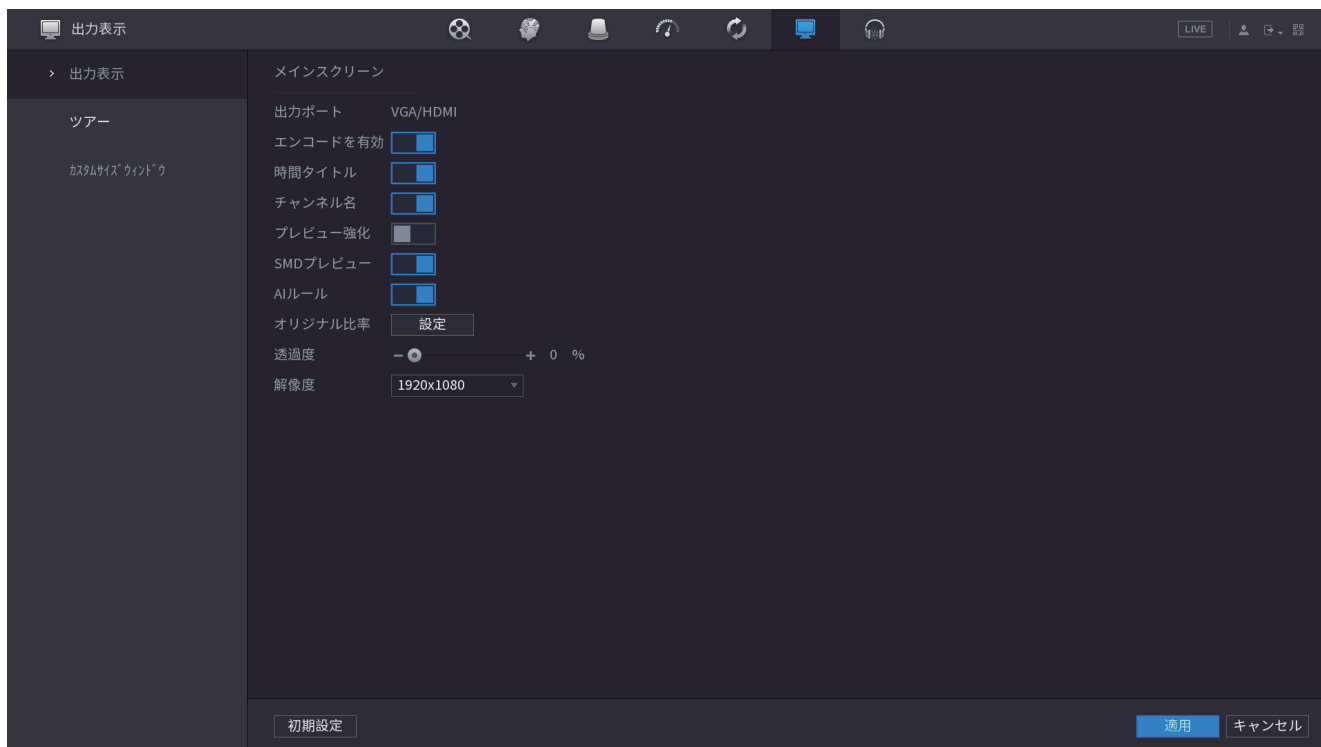
録画データなどを外部デバイスにバックアップすることができます。

※バックアップには、**[USB 接続の外部デバイス]**が必要です。

※バックアップ用のデバイスについては、すでに他の機種で使用中のデバイスの場合、フォーマットや保存データとの関係で**【使用できない可能性があります。】**本機でフォーマット(初期化)を行い、使用できる外部デバイスをご準備ください。

[illegible]

モニターに表示する情報を設定する項目です。



出力表示

スクリーン表示する情報のオン/オフを設定します。

特にこだわりの設定がない場合は、初期設定での使用をおすすめいたします。

ツアー

表示されるカメラの情報を、通常の「1画面」もしくは「4画面」表示ではなく、設定した時間でカメラが切り替わるように設定できる項目です。

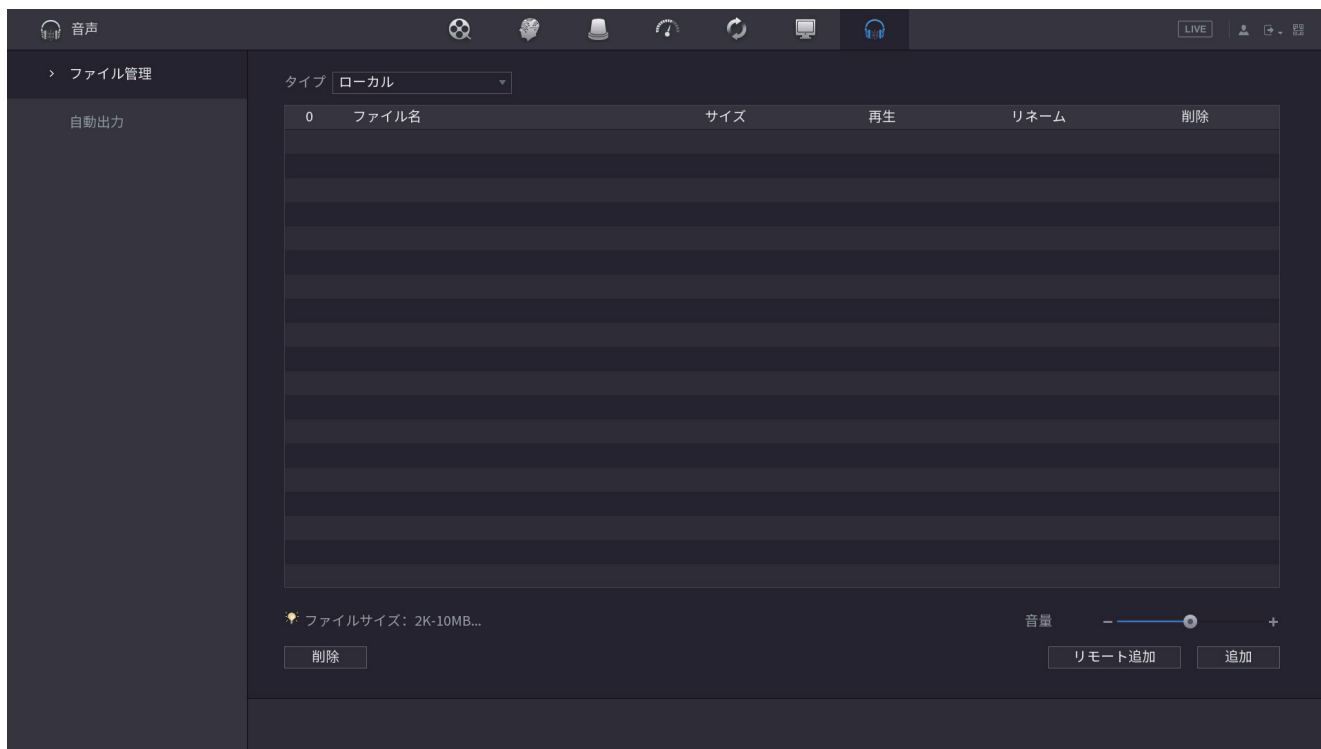
例えば、「1画面」表示で4台のカメラを順番に切り替わるように表示したい時には、このツアーで設定を行います。

カスタムサイズウィンドウ

通常は「1画面」もしくは「4画面」で使用している画面を、「3画面」などに変更できる設定項目です。

設定後、カメラ表示画面に戻り、「右クリック」→「ライブ分割」を選択すると、設定した画面表示を選択できるようになります。元に戻す際は、同じように画面上で「右クリック」→「ビュー 1」、もしくは「ビュー 4」を選択してください。

スピーカー付きのカメラをご使用の場合などに使用できる、音声を追加・削除する項目です。



ファイル管理

カメラのスピーカーなどから出力する音声データを追加できます(スピーカー付きのカメラをご使用の場合に限ります)。

データの入ったUSBメモリを接続し、右下の[追加ボタン]で追加をすることができます。

自動出力

スケジュールを設定し、プリセットや追加登録した音声データを出力できる項目です。

※この機能は、NVRにRCAでスピーカーが接続されている場合や、HDMI接続しているモニターにスピーカー機能がある場合に限ります。**[PoE接続されたカメラ経由での出力はできません。]**

本項目では、接続中の各種カメラ設定が可能です。

カメラ		カメラ	カメラ	カメラ	カメラ	LIVE
IPC		IPC	デバイス状態	ファームウェア	アップグレード	
画像	チャンネル	IPアドレス	製造者	タイプ	システムバージョン	SN
	1	10.1.1.65	プライベート	DH-IPC-HFW1239TL1-PV	2.860.0000000.31.R,2024-11-07	BB0A4CDPAGD808B
	2	10.1.1.66	プライベート	DH-IPC-HDBW1239E1-A-IL	2.860.0000000.34.R,2025-04-15	
	3	10.1.1.67	プライベート	IP Camera	2.840.0000000.13.R,2024-07-26	BB0A2FFPAGC16D6
オーバーレイ	4	10.1.1.68	プライベート	IPC	2.860.0000000.29.R,2024-08-23	BB0A4ABPAG63390
エンコード						
チャンネル名						
PoE						
リフレッシュ						

IPC

現在接続中のカメラの状態、IPアドレス、ファームウェアなどが確認できるページです。
接続中のカメラが動かなくなった場合は、まずこの項目を確認してください。
現在カメラが問題なく使用できている場合、特に変更の必要はございません。
IPやパスワードの変更、最新ファームウェアへの更新が必要な場合は、本項目で変更をお願いいたします。

画像

接続中のカメラの輝度やコントラストなどを変更できます。
その他にも、反転(90°/180°/270°)、逆光、WB(ホワイトバランス)の設定が可能です。
さらに、手動でイルミネーター(赤外線や白色ライトなど)の有効/無効、B/W(白黒)の設定で常時モノクロ録画など、詳細なカメラ設定を変更できます。

オーバーレイ

録画データ上にオーバーレイで**[決まった文字を入力]**したり、カメラごとに**[プライバシーマスク]**を設定できます。プライバシーマスクは**[4つまで設定可能]**で、設定したエリアはライブカメラでも録画データでも**[黒抜け]**となり、そのエリアの画像表示や録画は行われません。

※オーバーレイで入力できる文字は日本語入力できません(アルファベットのみとなります)。

エンコード

接続しているカメラごとに、録画データの圧縮方式やフレームレート、ビットレートなどの設定ができます。特に変更する理由がなければ、変更の必要はございません。

スナップショット撮影時の設定も行えます。撮影を行った場合、「検索」で録画データを確認する際に「録画」ではなく「画像」に切り替えると、画像での検索が行えるようになります。

チャンネル名

各カメラごとのチャンネル名をデフォルト設定から変更できます。

※日本語入力できません(アルファベットのみとなります)。

PoE

NVR本体からPoE電力供給を行っている場合に、各ケーブルの使用電力、転送速度、品質などを表示できます。

ネットワークの詳細設定項目です。

本項目には決まった設定値がなく、ご使用環境によって設定内容が異なります。

一般的に、設定変更は不要な項目となります。

ご自身のネットワーク環境の詳細がわかる方、または変更しないと本製品が使用できない環境の方のみ、設定の変更をお願いいたします。ここでは、P2Pの項目のみ説明します。

ネットワーク

TCP/IP

インターカード	IPアドレス	ネットワ...	NICメンバー	修正	解放
NIC1	192.168.100.60	シングル NIC	1		

ポート

DDNS

電子メール

自動登録

スイッチ

P2P

IPアドレス:192.168.100.60 デフォルトゲート 192.168.100.... MTU:1500

MACアドレス:30:dd:aa:a7:db:68 サブネットマスク:255.255.255.0 モード:DHCP

IPバージョン IPv4 ☒ DHCP

優先DNS 192 . 168 . 100 . 100

オルタネート... 8 . 8 . 4 . 4

初期設定カード NIC1

仮想ホスト ☒

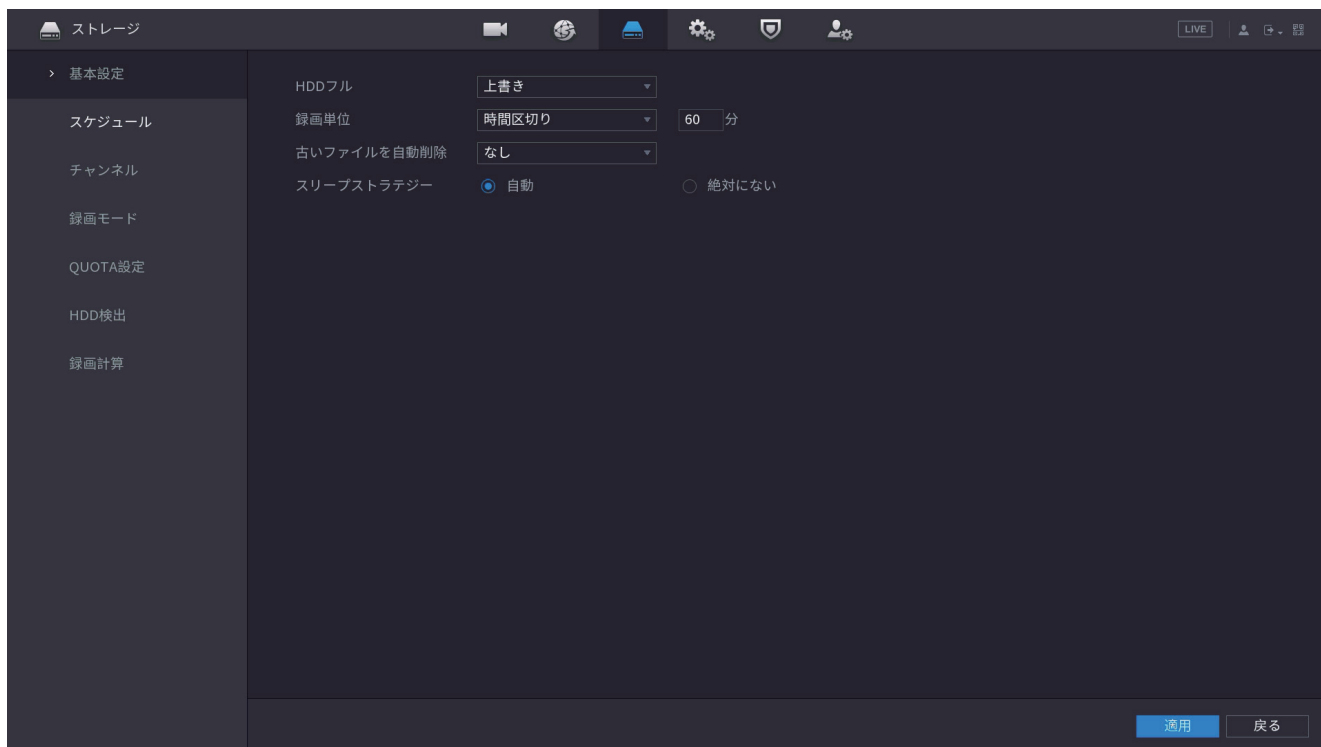
テスト 適用 戻る

P2P

初期設定のステップ⑥で一度表示された設定項目と同じです。

初期設定で設定せず、後で設定が必要になった方はこの項目から設定をお願いいたします。

ストレージの詳細設定を行う項目です。



基本設定

データがいっぱいになった際、**[上書き]**にするか**[録画を停止]**するかなどを設定できます。
この設定は初期設定から変更しないことをおすすめいたします(上書き設定)。

スケジュール

録画・スナップショットのスケジュールを設定できます。
例えば、週末は録画しなくてよいルールがある場合、週末のみ録画をしないよう設定が可能です。
この項目も初期設定から変更しないことをおすすめいたします。

チャンネル

接続しているHDDの状況を表示する項目です。
基本的には初期設定のままで問題ございません。
ただし、フォーマットをかける際は、本項目の左下の「フォーマット」を選択して実行してください。

録画モード

録画するチャンネルやストリームを設定できます。
デフォルトでは、各チャンネルのメインストリームが録画されます。

QUOTA 設定

ユーザー / グループごとに HDD の使用可能領域を制限できる設定項目です。
オフのままご使用されることをおすすめいたします。
録画開始後に設定する場合、**[全ての録画データが削除されます]** のでご注意ください。

HDD 検出

使用中の HDD の BAD セクタを検出する機能です。
HDD のエラーが出た場合は、この機能で BAD セクタ検出が可能です。
ただし、**[録画データが破損する可能性]** もあります。この項目を使用する際は、交換用の HDD を入手し、重要なデータを別ストレージにバックアップした後に行ってください。

録画計算

使用中のカメラの解像度、台数、搭載している HDD 容量を元に、録画可能な最大日数を表示できます。
また、特定の日数を録画したい場合に必要な HDD 容量を表示することも可能です。

基本設定や日時の設定を行う項目です。

システム		カメラ	設定	セキュリティ	ユーザー
一般設定	基本設定	日付時刻	休日設定		
デバイス名	test				
機器番号	8				
言語	日本語				
ビデオ規格	NTSC				
リモートデバイスの同期	<input checked="" type="checkbox"/> (言語、形式、タイムゾーンを含む)				
リアルタイム再生	5分				
自動ログアウト	10 分 表示モニタ (ログアウト)				
IPC時刻同期	<input checked="" type="checkbox"/>				
間隔	24 時間 (1 - 168)				
ナビゲーションバー	<input type="checkbox"/>				
マウス感度	<div><div></div><div>スロー</div><div>高速</div></div>				

[適用](#) [戻る](#)

一般設定 → 基本設定

デバイス名 (NVRの名称) 設定、言語設定、ビデオ規格などの設定を行う項目です。

一般設定 → 日付時刻

NVRのシステム日付や時刻の設定を行う項目です。
初期設定時に登録を行っている場合は、本項目で設定の必要はございません。

一般設定 → 休日設定

休日設定を行うことで、特定の日付を通常の録画とは異なる扱いに設定できます。

ネットワークのセキュリティや各種証明書の設定を行う項目です。

本項目では、セキュリティに関する詳細なネットワーク設定が可能です。

設定の要・不要や、内容がご使用環境によって異なるため、本マニュアルでは各項目の内容のみ記載します。

一般的に、ご家庭でご使用の場合は設定の変更は必要ない場合がほとんどです。



セキュリティステータス

現在のセキュリティステータスを確認できます。

セキュリティを高めるための設定変更アドバイスが表示されます。

システムサービス

HTTPSの有効化、TLSの互換設定、各種設定のオン/オフ設定が可能です。

攻撃防御

ファイアウォール、連続ログイン失敗時のアカウントロック、DoS(Denial of Service Attack) の設定などが行えます。

CA 証明書

NVR 本体からの PoE 電力供給を行っている場合に、各ケーブルの使用電力、転送速度、品質などを表示できます。

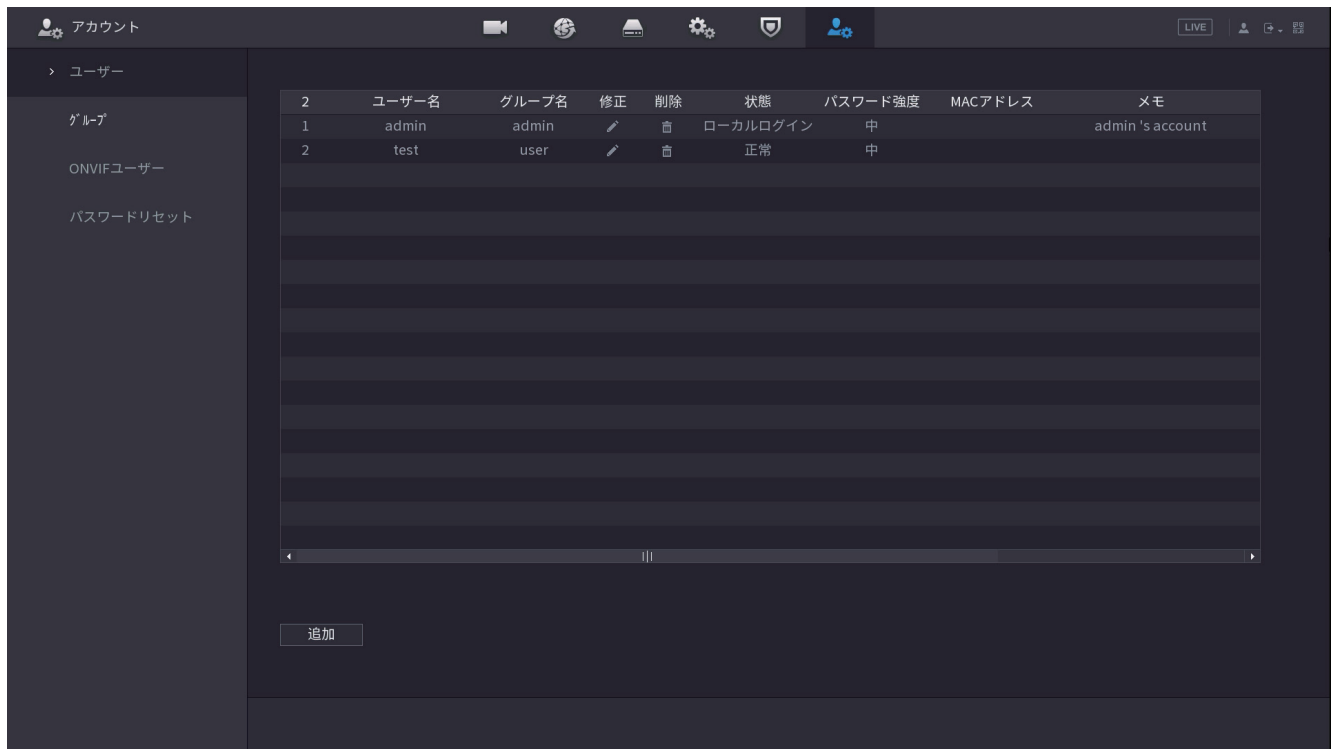
A/V 暗号化

音声(Audio)と映像(Video)の信号を IP(インターネットプロトコル)ネットワーク上で送信する際、盗聴や改ざんを防ぐために **[AES/TLS などの暗号化技術]** を使用してデータを保護・伝送する設定を行う項目です。

セキュリティ警告

異常や不正ログイン発生時の警告の有無や、警告のタイプを設定する項目です。

アカウントに関する内容を設定する項目です。



ユーザー / グループ / ONVIF ユーザー

現在登録されているユーザーやグループのリストが表示されます。
データの修正やユーザーの削除が可能です。

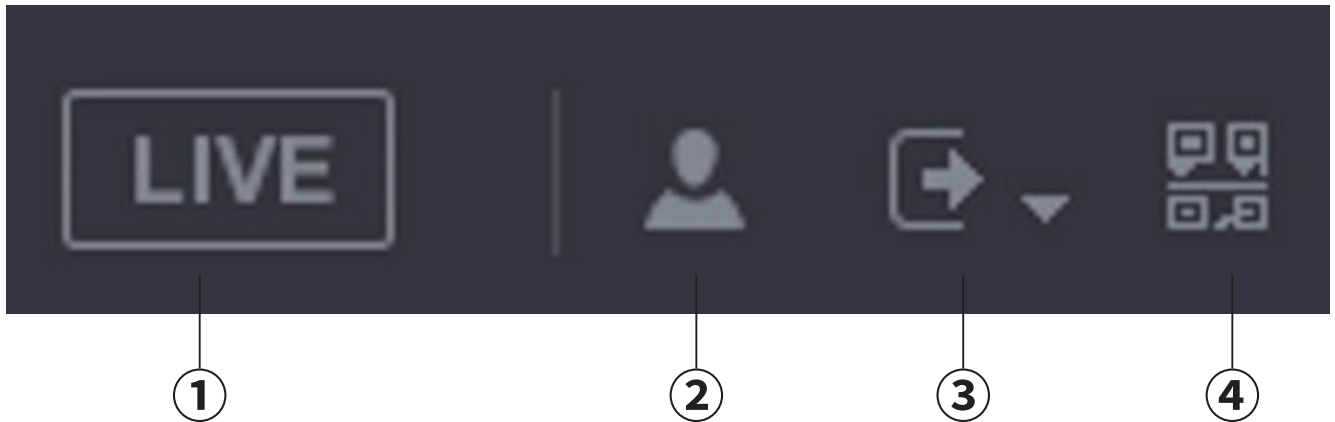
パスワードリセット

初回に設定したパスワードをリセットする項目です。

[セキュリティ質問]を設定している場合は回答が必要です。

右上アイコン

メインメニュー右上に表示されているアイコンの説明です。



① LIVE アイコン

クリックすると、現在撮影中のライブカメラ画面に移動します。
メインメニュー上でマウスの右クリックを押しても同じ画面に移動できます。

② ユーザー(人型アイコン)

クリックしても特に効果はありません。
マウスカーソルをアイコン上に重ねると、現在ログインしているアカウント名が表示されます。

③ シャットダウンメニュー(右矢印アイコン)

クリックすると「ログアウト」「再起動」「シャットダウン」の3つが表示されます。

- ・ユーザーを切り替える際は「ログアウト」を選択してください。
- ・長時間の稼働後に再起動したい際は「再起動」を選択してください(基本的には不要です)。
- ・設置場所の変更などで電源を切りたい場合は「シャットダウン」を選択してください(基本的には不要です)。

④ QR アイコン

クリックすると、**[P2Pと同じ項目]**が表示されます。
初期設定のステップ⑥で表示された、P2P設定のQRコードが表示されます。

カメラの接続について(補足)

カメラは原則、**[ARCHISS ブランドの PoE 対応カメラ]**をご使用ください。

接続に必要なもの

- ① PoE 対応の LAN ケーブル (CAT 5e 以上)：設置場所に合わせた長さをご用意ください。
- ② PoE 対応 Hub：必須ではありません。設置場所と NVR の配置場所が遠い場合にご使用ください。
PoE の理論値は 100m ですが、ケーブルの品質などにより減衰が発生し、60～70m になることもあります。

接続方法

カメラと NVR の接続は、**[PoE LAN ケーブルで両者を接続するだけ]**です。
環境により多少異なりますが、接続後 2～3 分程度待つとカメラが自動的に認識され、使用可能になります。